

かわさき アートニュース

2023年
5月号

Vol.323



CONTENTS [目次]

- 02 | 特集 第48回川崎大師新能
インタビュー:山階彌右衛門さん(シテ方観世流能楽師)
- 04 | 音楽 ミューザ川崎シンフォニーホール
- 07 | イベントレビュー
- 08 | 美術 市内ギャラリー情報
- 10 | 歴史・文化 川崎浮世絵ギャラリー
- 11 | 歴史・文化 東海道かわさき宿交流館
- 13 | 演劇 アルテリオ小劇場
- 14 | 映画 アルテリオ映像館

川崎子ども能楽教室の
子ども達も出演します



「音楽のまち・かわさき」のマスコット
かわさきミュートン



THE KAWASAKI FOUNDATION

第48回

川崎大師新能

インタビュー／山階彌右衛門さん
(シテ方観世流能楽師)

かがり火を焚いて、幻想的な雰囲気の中で能・狂言を上演する「新能」。

川崎大師平間寺の境内に設置された屋外特設舞台で、気軽に伝統芸能を楽しむことができ、初心者の方にもおすすめです。

今回は、牛若丸(のちの源義経)と天狗の物語を描いた能『鞍馬天狗』でシテ(主役)を演じる山階彌右衛門さんにお話をお伺いしました。

地元の子ども達も出演
大切にしてほしいことは?

——能『鞍馬天狗』では、川崎で能楽を学ぶ子ども達も舞台に立ちます。

選曲の理由をお聞かせください。

きっかけは、川崎で長年能楽教室を開かれている鵜澤久先生から、「年頃の小学校高学年くらいのお子さんが揃ったので、できれば舞台に出してあげたいけれども、どうでしょうか」というお話をいただいていたことです。5月に新型コロナの規制も緩和される予定でひと区切りつくことから、「やりましょう」とお話ししました。

私も含め多くの能楽師は、今回お子さんたちが演じる「お花見」という役でデビューします。出演時間は5分ほどですが、玄人と一緒に舞台に立つのはやはり緊張感が違います。川崎のお子さんには、舞台上以外のところでも、「はじめと終わりに出演者全員で挨拶をする」などの礼儀作法を大事にしてもらいたいと思います。

情けを誘う牛若丸の謡

——見どころを教えてください。

前半、子ども10人が舞台に立ち並び



お花見をしている様子はとても華やかです。そこへ私が山伏役(正体は天狗)で乱入すると、「不審者が来た」と、皆大事な子どもを連れて帰ってしまいます。山伏は「花がきれいに咲いているので一緒に見ても良いだろうに」と嘆きます。そこに牛若丸だけが残っており、訳を尋ねると、「帰ったのは平家の子であり、自分だけが源氏の子で疎外感を味わっている」と答えます。そして「月にも花にも捨てられて候」と節つきで謡うのです。悟りを開いたような謡をわざと子どもに謡わせることで、一層「何も知らなくて可哀想だ」と観る方の情けを誘うところがお洒落で、とても好きな謡です。

天狗の音楽に隠された仕掛け

後半、天狗が出てくるときの出囃子「大癒」も面白いです。天狗は素早いイメージですが、ゆっくりとした音楽で登場します。不思議でしょう?天狗が名乗り、全国の自分の配下にある天狗の名前を言い連ねると、一気に謡が速くなり、最後にお囃子がポンッと鳴って牛若丸の前に現れるという演出です。これは、例えば宇宙船が実際にはすごいスピードで動いていても広大な宇宙ではゆっくりと動いているように見えることと同じです。さらに、まるで隕石が成層圏を抜けてドーンと降ってくるかのような様子まで、音楽に取り入れられていますから驚きです。700年前の人は、自然界の時の流れを現代人よりもずっと敏

感に分かっていたのではないかと思います。

天狗は妖怪か?神様か?

——牛若丸にとって、天狗はどのような存在だったのでしょうか。

本来、天狗は悪い妖怪です。昔は幾千日も山を駆け巡って修行をしていると一種の霊力を持つと信じられていました。人間の山伏が修行を積み、良い方向に行くと山を下りてお坊さんとなり、道を誤ると天狗となるといわれておりませんが、どちらの道も隣り合わせです。他の演目では、天狗はお坊さんを悪の道に誘う存在であり、今回の「鞍馬天狗」だけが、牛若丸に兵法の奥義を教える良い存在として描かれています。

日本には山岳信仰があるように、鞍馬天狗は、鞍馬山の自然の力の象徴でもあると思います。演目の最後に天狗が、「牛若丸の守り神となって平家を滅ぼすまで尽力しましょう」と言い残しますが、実際に義経の戦では壇ノ浦の海流が変わったり、屋島の暴風雨の中を船で渡ったり、神がかり的なことが起きています。

天狗の心を打った牛若丸の行動
弟子としての心得とは?

後半部分に、牛若丸が木葉天狗との兵法の稽古を思い留まり鞍馬天狗を待つ場面があります。師匠以外と稽古をしてしまっただけで他流試合のようなことになるためです。師匠よりも先に来ていること

プロフィール

山階 彌右衛門 昭和36年生まれ／二十五世 観世左近元正 次男／父及び二十六世 観世清和に師事／重要無形文化財総合指定保持者／伝統文化ポラ賞優秀賞受賞／一般社団法人観世会副理事長／一般財団法人観世文庫常務理事

も大切で、鞍馬天狗はこの心がけを褒め、「弟子が教えを授かる時の態度」について、漢王朝を開いた高祖・劉邦の部下・張良が仙人の黄石公に認められ兵法の奥義を教授された昔話(※1)をもとに語ります。ここでは、人から何かを教えていただくときの心得など、人生の様々な出来事につながるものが、テーマとなっているように感じます。

観世流家元による 名曲「松風」の舞

——二十六世 観世宗家の観世清和師は、「松風」を舞囃子(※2)形式で演じられます。

「松風」は非常に美しく、お家元も得意とされている名曲です。伊勢物語を題材に、愛する在原行平を待ち続けてい

る松風という女性が舞うシーンをご覧ください。行平に見立てた松に抱きつくような型をしたり、周りを回ったり、戯れるように舞います。

お家元は本年三月、日本芸術院の会員になりました。大変名誉なことで、会員には後進の育成や子どもたちへの普及というお役目もあるのだそうです。未来につなげるという意味合いでも、「鞍馬天狗はぴったりですね」と、お家元とお話ししました。

華やかな能の世界への一歩に
——能を初めて見る皆様にメッセージをお願いします。

新能は、まずビジュアル的なところから見ていただくのが一番だと思います。「鞍馬天狗」は非常に分かりやすい演

目です。能は敷居が低いものではありませんが、見る前にあらすじを少し読んでいただければ、スッと分かりますし、敷居を一步超えると、もうどっぷり浸かりますから。コロナが収束し、子どもたちがたくさん出てくる華やかな舞台を見て、「また元の世界に戻りますね」と感じていただくことも良いと思います。

(※1)…張良が馬から下り黄石公に挨拶すると、黄石公が自分の左足の靴を放り投げたので、拾って履かせた。次の日は両方の靴を投げたので、両方とも拾って履かせたところ、兵法の奥義を授かったという故事。

(※2)…能面・装束をつけず紋付袴姿で能の一番面白い部分を舞う形式。

今回のシテ(主役)・鞍馬天狗の姿



「白頭」

一般的な天狗は「赤頭」で強い力を表す赤い髪の毛。白頭になると、ろう長けた(年功を積んだ)天狗となり、牛若丸に教授するときの説得力も増す。

「羽団扇」

天狗が必ず持つ物。天然記念物の鷹や鷲の羽を使用するため、今ではとても貴重。

(撮影:龍島吉裕)

「袈裟」など

白頭と合わせて袈裟や頭襟(帽子)を着けることで、大僧正(長く修行したお坊さん)の姿が重なる。杖をつき、貫禄や地響きのようなスケールの大きさも感じさせる。

チケット購入特典

チケットを持って川崎大師周辺を巡ろう!!

公演当日に川崎大師新能のチケットをお見せいただくと、川崎大師表参道商業協同組合と川崎大師仲見世通会の協力店舗でお得なサービス特典を受けられます。(飲食店、お土産屋さんなど…)

協力店舗やサービス内容などの最新情報は随時更新されるホームページでご覧ください。

今年の注目サービス

～ご自分の着物で、伝統芸能を楽しみましょう～

着物の着付け 3,500円(通常の2,000円割引)※着物をご持参ください(国家検定着付け1級技能士が着付けさせていただきます。)

[申込&お問い合わせ] みやうち着物学院(川崎大師きもの変身処)

TEL 044-201-4758 または 090-2307-6808(担当:佐久間)

FAX 044-201-4759

【特別出演】川崎子ども能楽教室

(主催:「鶴澤久・夏休み能楽体験・鑑賞教室」を支える会)

川崎市文化大使でもある観世流能楽師・鶴澤久先生ご指導のもと、基本的に毎月1回のお稽古を重ね、年に1～2回仕舞や謡(周年記念の際には能1曲)の発表会を行っています。



公演情報

第48回

川崎大師新能

[日時] 2023.6.1(木) 17:30開演

[会場] 大本山川崎大師平間寺 特設舞台(雨天時:信徒会館)

[演目] 新能法楽

大導師 貫首 藤田隆乗(大本山川崎大師平間寺)

仕 舞「鶴亀」岡本房雄 「二人静」鶴澤久・鶴澤光

「融」観世恭秀

狂 言「樋の酒」山本泰太郎

舞囃子「松風 戯之舞」観世清和

能 「鞍馬天狗 白頭」山階彌右衛門

◆開演前17:00より出演能楽師による見どころ解説を予定しています。

◆英語版簡易プログラムの配布もごさいます。

[チケット] ◆チケットぴあ [チケットぴあ 第48回川崎大師新能] 検索

◆川崎駅北口かわさきたラス観光案内所

平日9:00～20:00(土日祝日は19:00)

◆ミュージアム川崎シンフォニーホールチケットセンター

TEL:044-520-0200(10:00～18:00)

◆大本山川崎大師平間寺 ※電話予約不可

TEL:044-266-3420(9:00～15:30)

ほか

[料金] S席/6,500円(区分指定・区分内自由/雨天時 信徒会館入場可)

A席/4,500円(区分指定・区分内自由/雨天時 払い戻し)

U25/2,000円(当日要身分証提示。区分指定・区分内自由/雨天時 払い戻し)

※A席、U25チケットは雨天時に信徒会館への入場はできません。

[主催] 川崎大師新能実行委員会

[お問い合わせ] 川崎市文化財団 川崎大師新能係

TEL 044-272-7366



川崎大師新能
ホームページ

4/18
10:00
発売

梅田俊明が贈る、流麗なメロディの名曲選。
言わずと知れたモーツァルトの代表作である「ト短調交響曲」第40番。
前半は、日本を代表するフルート奏者高木綾子が華やかに奏でます。

第53回 モーツァルト・マチネ MOZART MATINEE #53

5月27日(土) 11:00開演(10:30開場)

※休憩なし/終演予定12:10頃

【出演】指揮:梅田俊明

フルート:高木綾子

管弦楽:東京交響楽団

【曲目】《オール・モーツァルト・プログラム》

♪セレナーデ 第6番「セレナータ・ノットウルナ」

♪フルート協奏曲 第2番

♪交響曲第40番

【チケット】全席指定¥4,000 U25¥1,500

好評
発売中



梅田俊明
©K.Mura



高木綾子
©FUMI



\\フルートパートの中高生、集まれ! //

『創発』×モーマチ第53回 吹奏楽ワークショップ

お互いが影響し合うことで、イノベーションを生むことを目指した「創発」プログラム第1弾として、フルートを学ぶ中高生向けにワークショップを開催します。

普段演奏している楽器がオーケストラの中でどのように演奏されているかを知り、たくさんの気づきを獲得しましょう!

【講師】高木綾子(フルート奏者) 【参加対象】公演を鑑賞した中高生(フルートを演奏する方)

【定員】10名程度 【日程】5月27日(土) 10:15~13:30

【スケジュール】10:15 集合、参加者同士で自己紹介 11:00~12:10 公演鑑賞

12:20 ドリンクコーナー集合、楽器準備等 12:30~13:30 ワークショップ

【会場】ホール及びホール2階ホワイエ(予定) 【参加費】無料(公演U25チケット1,500円要購入)

【申込】ミューザ川崎シンフォニーホールサイト「わくわくミューザ」ページ内申込フォームからご応募ください。→

【申込期間】3月22日(水)~4月20日(木)

【結果発表】ご参加いただける方のみ、4月28日(金)にメールにてご連絡いたします。

- ワークショップには、ご自身の楽器をお持ちください。
- 公演にご来場の方のみ、聴講も可能です。
- 保護者の方はお近くで聴講をお願いします。(公演チケット要購入)
- 受講生の関係者のみ録音・録画可能。但し、SNSや動画サイトに掲載しないようお願いいたします。



応募はこちらから

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

お待ちどうサマー♪

サマーミュザ
川崎が夏音に染まる21日間

フェスタサマーミュザ KAWASAKI 2023

7/22^土~8/11^{金祝}

Web先行発売
4/22^土
一般発売
4/27^木

特設サイトは
こちら



ミュザ川崎シンフォニーホール TEL 044-520-0200 (10:00~18:00)

主催:川崎市、ミュザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) 後援:川崎市教育委員会、公益社団法人 日本オーケストラ連盟、J-WAVE 81.3FM、TBSラジオ



3日 水曜
13:30開演

横浜フィルハーモニー管弦楽団 第87回定期演奏会

指揮：松井慶太
ドヴォルザーク：序曲三部作「自然と人生と愛」、交響曲第9番「新世界より」

前売券／当日券 全席指定¥1,000 ※65歳以上は、当日券のみ500円

お問合せ | 横浜フィルハーモニー管弦楽団 事務局 080-3313-5851 [チケット](#)

5日 金曜

こどもフェスタ2023春 イベント詳細・お申込みは「わくわくミュージア」で検索

パイプオルガン：大木麻理 おはなし・司会：小笠真紀
【11:00～】おはなしオルガン★ 【13:00～】パイプオルガンミニコンサート&照明ショー★ 【15:00～】パイプオルガン長期レッスン発表会 他

入場無料(★印のイベントは要事前申込。4/7(金)まで)

お問合せ | [MUZA](#)

6日 土曜
13:30開演

混声合唱団「樹林」第26回定期演奏会

指揮：辻 秀幸 管弦楽：東京パッハ・カンタータ・アンサンブル ソリスト：大島 博、山下浩司、隠岐彩夏、加納悦子、鈴木 准、田代和久
児童合唱：ジュニア合唱団Uni パッハ：「マタイ受難曲」

全席自由¥3,000

お問合せ | 混声合唱団「樹林」 <https://www.jurin-kokago.com> [チケット](#)

7日 日曜
13:30開演

創立40周年記念コンサートVol.1 麻生フィルハーモニー管弦楽団 第76回定期演奏会

指揮：和田一樹 管弦楽：麻生フィルハーモニー管弦楽団
ワーグナー：楽劇「トリスタンとイゾルデ」愛の死／マーラー：交響曲第9番

全席指定¥1,000

お問合せ | 麻生フィルハーモニー管弦楽団 info@asaophil.org / <https://asaophil.org> [チケット](#)

12日 金曜
19:00開演

ジョナサン・ノット指揮 東京交響楽団 R.シュトラウス「エレクトラ」全1幕

⑤¥15,000 ④¥12,000 ③¥9,000 ②¥6,000 U25(小学生～25歳)：各席種半額

指揮：ジョナサン・ノット 演出監修：サー・トマス・アレン エレクトラ：クリスティーン・ガーキー 管弦楽：東京交響楽団 合唱：二期会合唱団 他
R.シュトラウス：「エレクトラ」(演奏会形式／全1幕／ドイツ語上演／日本語字幕付き)

お問合せ | [MUZA](#) [東響](#) [チケット](#) [返](#)

13日 土曜
18:00開演

青山学院管弦楽団第122回定期演奏会

指揮：清水宏之
ベートーヴェン：交響曲第7番

料金未定

お問合せ | 青山学院管弦楽団(高城) 050-6881-0253(全日11:00～18:00)

14日 日曜
16:00開演

東京学芸大学管弦楽団 第50回春季演奏会

指揮：井崎正浩
ブラームス：大学祝典序曲／シューベルト：交響曲第7(8)番「未完成」／ブラームス：交響曲第2番

入場無料

お問合せ | 東京学芸大学管弦楽団 池田 080-7557-1729([teket](#))

20日 土曜
18:30開演

お茶の水音楽楽団 第112回定期演奏会

指揮：今井治人
ヴェルディ：歌劇「運命の力」序曲／チャイコフスキー：幻想序曲「ロメオとジュリエット」／ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界より」

全席自由¥500 当日券¥800

お問合せ | 広報係 Ochakan.kouhou@gmail.com ([teket](#))

21日 日曜
14:00開演

ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第187回

⑤¥7,000 ④¥6,000 ③¥4,000 ②¥3,000 当日学生券¥1,000(要問合せ・要学生証)

指揮：ジョナサン・ノット(東京交響楽団 音楽監督) 管弦楽：東京交響楽団
リゲティ：ムジカ・リチェルカータ第2番(ピアノソロ：小笠真樹)／マーラー：交響曲第6番「悲劇的」 ※本公演には休憩がありません。

お問合せ | [MUZA](#) [東響](#) [チケット](#) [返](#)

23日 火曜
12:10開演

川崎信用金庫Presents MUZAランチタイムコンサート 5月 高橋博子&加羽沢美濃 ～イタリア音楽の戯れ～

全席指定¥500

パイプオルガン：高橋博子 ピアノ：加羽沢美濃
レスピーギ：パッハのコーラルによる前奏曲／P. A. ヨン：グレゴリオ聖歌風協奏曲／加羽沢美濃：祈り 他

お問合せ | [MUZA](#) [チケット](#)

27日 土曜
11:00開演

モーツァルト・マチネ 第53回

全席指定¥4,000 U25(小学生～25歳)¥1,500

指揮：梅田俊明 フルート：高木綾子 管弦楽：東京交響楽団
《オール・モーツァルト・プログラム》 セレナード 第6番「セレナータ・ノットウルナ」、フルート協奏曲第2番、交響曲第40番

お問合せ | [MUZA](#) [東響](#) [チケット](#) [返](#)

28日 日曜
15:00開演

岩本達明 還暦記念コンサート

指揮：岩本達明 管弦楽：横浜シンフォニエッタ
カール・オルフ：カルミナ・ブラーナ 他

全席自由¥3,000 当日¥3,500

お問合せ | 高津市民合唱団(日比野) 080-2376-3111 [チケット](#)

※2023年3月6日現在の公演情報です。
都合により予告なく変更になる場合がございます。
最新情報は各主催者へお問合せください。

MUZA マークの付いた公演はホール主催または共催です。
ミュージア川崎シンフォニーホール(044-520-0200)までお問合せください。
東響 マークの付いた公演はTOKYO SYMPHONYチケットセンター(044-520-1511)でもご購入いただけます。
チケット マークの付いた公演は、ミュージア川崎シンフォニーホールチケットセンターにてお取り扱いしております。
返 マークの付いた公演は、ホール友の会会員割引がございます(セット券等を除く)。

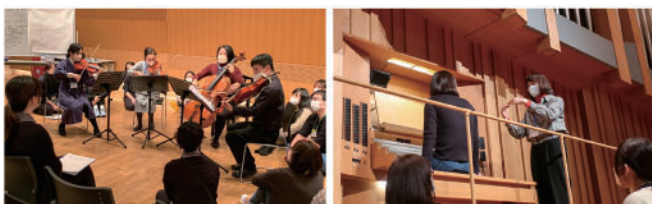
ご来館の前には、必ず
公式サイト「ミュージア
川崎シンフォニーホール
の取り組みとお願い」を
ご確認ください



一般財団法人地域創造 ステージ・ラボ

(2月14日～17日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

ミューザで事業制作の「ラボ」開催



公共ホールや地方公共団体職員を対象とした研修「ステージ・ラボ」が川崎で開催され、全国から約40名の研修生が集まりました。プログラムは2つに分かれており、主に「入門コース」(業務経験1年半未満)では、講師による様々なアウトリーチを体験し、地域課題の解決模索へ繋がりました。「自主事業コース」(業務経験2～3年程度)では、いくつかのチームに分かれ、アーティストの協力のもと実際に様々な対象者を想定したアウトリーチ公演の企画、リハーサル、実演までをシミュレーションするプログラムが行われました。

15日には「ミューザ川崎シンフォニーホールのパイプオルガン事業見本市」と称したコンサート形式のプログラムも行われ、ホールオルガニストの大木麻理さん他による演奏やオルガンツアーなども実施されました。

第128回川崎市定期能～観世流～

(3月11日 川崎能楽堂)

初めての方も大絶賛



年に3回開催している能・狂言の定期公演。第1部では、饅頭をめぐる狂言「饅頭」と、源氏物語の供養のお礼に紫式部が美しい舞を舞う能「源氏供養」を上演。第2部では、酒をタダで手に入れた太郎冠者と酒屋とのやり取りが滑稽な狂言「千鳥」と、鶴使の霊と閻魔大王が登場する能「鶴飼」を上演しました。

【お客さまの声より】

- 実際の能の出演者の方の足の運びや息遣い、鼓や笛の音の迫力は間近でしか体験できないものであり、大変貴重な機会になりました。(20代)
- 初めて狂言と能を見ましたが、思っていたよりも分かりやすく、もっと色々な演目を見たいなと思いました。また川崎能楽堂も初めて来ましたが、駅から近く、アットホームな空間で、落ち着いて能を見ることができました。(30代)

3分間ビデオ制作入門講座2022 14期生上映会

(2月19日 川崎市アートセンターアルテリオ映像館)

映画の撮影から編集、そして映画館での上映まで



アートセンター開催の3分間ビデオ制作入門講座は、映画監督にビデオ制作を学ぶ好評の企画です。今年は、講師の土屋トカチ監督に加え、新たに村上浩康監督をお招きしました。受講生は18名。映像は全く初めての方、撮影はするが編集は初めてという方まで、初心者レベルから映画を制作します。2022年10月から6回にわたり、映像について、ビデオの使い方、編集ソフトを使った映像編集を行いました。

2月19日の上映会では、受講生が制作した18作品を上映。「映画というのは不思議なもので、それぞれの制作者の個性がわかるような作品ができていますね」と講師の講評がありました。受講生からは「スクリーンでみられて感動した」「映像編集がこんなに大変でもとても楽しいことが分かった。今後も作っていきたい」との声が聞かれました。

ラゾーナ寄席

(3月21日 ラゾーナ川崎プラザソル)

寄席に集い世相を笑う



3月のラゾーナ寄席は、WBCで日本の快勝が盛り上がる中での開催となりました。本寄席世話人の桂米多朗さんは、シアトルでイチローが出場した試合で皿回しをした思い出と共に、久々の実演という皿回しを披露。真打の桂文治さんは、時事ネタをたっぷり聞かせた後、本題の「お血脈」に入ったかと思えば、いつの間にか方々違う話に誘われます。時に講談の物まねをしたり、朗々と歌ったりと、終始観客を魅了しました。

5月の公演情報はP11にて

ラゾーナ寄席世話人 初音家左橋、桂米多朗出演

アルテリカ演芸座

● 4月29日(土・祝) 柳家三三・初音家左橋 二人会

● 4月30日(日) 異芸競演 お好み寄席

落語・講談・紙切り・浪曲・活動写真弁士 詳細はアルテリカHPにて▶



ラゾーナ川崎プラザソル

ご利用日の1か月前からの
申込に限りホール基本料金50%減額

- 最大200人収容の多目的ホール
- 充実した照明設備
- 演劇、音楽、ダンス公演、会議等、様々な用途にご利用いただけます。

空き状況はHPよりご確認ください。

TEL.044-874-8501 (10:00～20:00)



2023年4月から新スタート

施設使用料

半額

新百合トウェンティワンホール

ご利用日の2か月前より受付、
練習場としてのご利用に限り50%減額

- 450人収容の大ホール
- 団体登録不要、複数団体の同時使用も可能!

空き状況はお電話でご確認ください。

TEL.044-952-5000 (10:00～17:00)



各施設情報の詳細はP12アクセスマップをご覧ください。

アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・時間・料金等が変更になる場合がございます。最新の情報は必ず各施設へご確認ください。□ = 休館日
- 各展覧会の展示内容など詳細については、各施設へお問合せください。

2023.5

		1 Mon	2 Tue	3 Wed	4 Thu	5 Fri	6 Sat	7 Sun	8 Mon	9 Tue	10 Wed	11 Thu	12 Fri	13 Sat	14 Sun	15 Mon	16 Tue	17 Wed	18 Thu	19 Fri	20 Sat	21 Sun	22 Mon	23 Tue	24 Wed	25 Thu	26 Fri	27 Sat	28 Sun	29 Mon	30 Tue	31 Wed
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室																															
	第2展示室																															
	第3展示室																															
川崎浮世絵ギャラリー(川崎区) 川崎駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL. 280-9511 【休館日】月曜日(祝日と重なる場合は翌日)、年末年始、展示替えの期間 ※5/1(月)は開館、5/9(火)は休館																																
幸市民館市民ギャラリー(幸区) 幸区戸手本町1-11-2(幸文化センター内) TEL. 541-3910 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区枳形7-1-5 生田緑地内 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(5/1を除く)、5/9(火)	企画展																															
	常設展																															
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																

川崎市市民ミュージアム(中原区)

令和元年東日本台風の被害により、当面の間、
休館させていただきます。

新商品好評販売中! 市民ミュージアムオンラインショップ

【画図百鬼夜行
マスキングテープセット】…… 800円
市民ミュージアム所蔵の《画図百鬼夜行》に掲載されている妖怪がデザインされたマスキングテープ2個セットです。『天狗』や『ぬらりひょん』など恐ろしさもあり滑稽さもある多様な22匹の妖怪を厳選しました。

市民ミュージアムのオンラインショップでは、この春より新商品を販売しています。ほかにも展覧会図録やオリジナルグッズを多数ご用意しておりますので、ぜひ一度Webサイトをご覧ください。

- 【その他新商品】
- 絵図「工場は川崎へ」複製ポスター……………1,300円
 - 川崎市市民ミュージアム ポストカードセット……1,000円

オンラインショップはこちら
<https://www.kawasaki-museum.jp/shop/>



川崎市岡本太郎美術館(多摩区)

常設展 / 4月20日(木)～7月2日(日)
「岡本太郎と太陽の鳥」
岡本太郎は鳥を好み、とりわけ「わが窮極の友」としてカラスを愛しました。岡本は数年間、カラスの「ガア公」とともに暮らしています。その当時、岡本は二科会を脱退し、画風にも変化が表れます。本展では、鳥をモチーフにした作品から、画家としての転機でもあった、ガア公と過ごしたころの作品を紹介します。

企画展 / 4月29日(土・祝)～6月25日(日)
「顕神の夢 ー幻視の表現者ー 村山槐多、関根正二から現代まで」
Yearning for Visions: From Kaika Murayama and Shoji Sekine to Present Times

人智を超える神的な存在への憧れや思慕、畏怖を制作の原動力とする作家を紹介する展覧会です。神的なものを感知することで生まれる「幻視」をキーワードに、近代から現代までの約50名の表現者の作品を捉え直します。「人間を超越した『何か』を感知し表現すること」に駆り立てられた作家たちの、多種多様な表現をぜひ会場でお楽しみください。

(※会期中展示替えあり(前期:4月29日～5月28日、後期:5月30日～6月25日。))

主催:川崎市岡本太郎美術館、顕神の夢展実行委員会

助成:一般財団法人地域創造

監修:鎌田東二(京都大学名誉教授)

- 展覧会関連イベントについてはホームページをご覧ください





エキゾチック YOKOHAMA!

横浜浮世絵展

浮世絵にみる横浜開港と異国文化

会期／[前期]3月25日(土)～4月23日(日)

[後期]4月29日(土・祝)～5月28日(日)

「横浜浮世絵」とは、安政6年(1859)に開港して以来、国際的な貿易港として急激な発展を遂げた横浜を題材にした浮世絵です。

黒船の脅威、急速に変化する街並み、来日した外国人の姿、生活風俗…。これまで見たことのない新奇な物事に目をつけたのは、江戸の浮世絵師たちです。大衆の関心にこたえるべく、「新都市・横浜」を題材に、競うように浮世絵を出版しました。

本展では、異国情緒あふれる横浜の街の形成過程や、初めて外国人や外国文化に触れた日本人の驚きや憧れを、多彩で豊富な作品群を通してお楽しみいただけます。

歌川芳虎

「武州横浜八景之内 吉田橋の落雁」



歌川貞秀「横浜交易西洋人荷物運送之図」(部分)



三代歌川広重「横浜海岸外人館之図」

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F

TEL.044-280-9511 FAX.044-222-8817 <https://ukiyo-e.gallery/>

【アクセス】JR川崎駅北口東より徒歩2分もしくは中央東口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩2分

【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌日が休館)、年末年始、展示替えの期間 ※5月1日(月)は開館、5月9日(火)は休館

【開館時間】11:00～18:30(入場は18:15まで)

【観覧料】500円(ただし高校生以下、障がい者とその介護者1名は無料)

年間パスポート3,000円(購入日から1年間有効)

画像の作品はすべて、公益社団法人川崎・砂子の里資料館所蔵

©2023 川崎・砂子の里資料館

※展示内容は変更となる可能性がございますのでご了承ください。



広告募集

■広告掲載料: 広告B(1/8頁) P10下部掲載 ※左右2枠分あり
サイズ[ヨコ87mm×タテ63mm] カラー

1ヶ月契約	3ヶ月契約	6ヶ月契約
12,000円(税込)	35,000円(税込)	68,000円(税込)

■お申し込み及びお問い合わせは、メール・電話・FAXにてお願いいたします。

やはた印
八幡印刷株式会社／担当: 菅野(かんの)
TEL.03-3493-4381 FAX.03-3493-4382
Eメール: kanno-h@yahata p.co.jp

※広告募集・掲載に関しては、八幡印刷株式会社の責任において行い公益社団法人川崎市文化財団は責任を負いません。

広告

確かな技術とノウハウで
印刷ニーズに応えます。



八幡印刷株式会社

川崎営業所
川崎市幸区南幸町1-25-3-201
TEL 044-542-2311

東京営業所
東京都品川区西五反田2-9-7-403
TEL 03-3493-4381

<http://www.yahata-p.co.jp>



東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



川崎が生んだ詩人「佐藤惣之助」展

川崎が生んだ詩人佐藤惣之助の、詩人・俳人・作詞家のほか、多彩な活動について紹介します。

会期／5月2日(火)～6月25日(日)

会場／東海道かわさき宿交流館3階

料金／無料

第27回 お昼の落語

誰もが気軽に楽しめる日本の伝統芸能「落語」。

面白おかしい滑稽噺や心温まる人情噺など、多彩な演目をお楽しみください。

日時／5月10日(水) 14:00開演(13:30開場)

出演／二ツ目 三遊亭ふう丈 前座 金原亭駒介

会場／東海道かわさき宿交流館4階

料金／無料(全席自由)

定員／100名

申込方法／往復はがきに、住所・氏名・電話番号・参加人数(はがき1枚につき、2名まで申込み可)・「落語希望」と明記の上、

〒210-0001 川崎区本町1-8-4 東海道かわさき宿交流館 まで。

締切 4月26日(水)必着



三遊亭ふう丈

《往復はがき記入例》

〒210-0001 川崎区本町1-8-4 東海道かわさき宿交流館	(返書のうら) 結果通知を印刷し、 ここに貼る。 書かないでください。
--	--

〒210-0001 川崎区本町1-8-4 東海道かわさき宿交流館	(往復のうら) ①希望の催し名 ②郵便番号・住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤参加希望人数
--	---

第35回街道講演会

四国香川の歩きお遍路

「四国のお遍路」は全国的に有名ですが、実際に体験したという人は意外に少ないようです。本講演では、令和4年に6日間かけて歩いた遍路道を写真で紹介するとともに、境内での勤行の実際やお遍路の最新の事情について、世界遺産である熊野古道やスペインのサンチャゴ巡礼路との比較を交えながら楽しく解説します。

日時／5月20日(土) 14:00開演(13:30開場)

講師／佐竹信一 氏(旅行愛好家)

会場／東海道かわさき宿交流館4階

料金／無料

定員／当日先着100名(全自由席)



佐竹信一

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4 TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

<http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】 京急川崎駅より徒歩約6分、JR川崎駅中央東口から徒歩約10分、北口東から徒歩約10分

【休館日】 毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌平日が休館。

貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が可能です。



東海道川崎宿は2023年に
起立400年を迎えました

毎月 第三火曜日のお楽しみ ラゾーナ寄席 2023

第127回 5月16日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

■会場…ラゾーナ川崎プラザソル 〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出演…三遊亭笑遊・桂米多朗・三遊亭金の助・瀧川はち水鯉

■入場料…全席自由2,000円・25歳以下1,000円

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail:info@plazasol.jp <http://www.plazasol.jp>



三遊亭笑遊



アートガーデンかわさき

貸館案内 絵画、彫刻、造形、工芸、写真をはじめとするジャンルの超えたアートの発表の場です。自由に空間を演出していただけます。

TEL.044-200-1415 FAX.044-222-8817
<https://www.kbz.or.jp/facility/artgarden/>



〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1
 タワーパーク3F
【アクセス】
 JR川崎駅北口東直結、
 京急川崎駅より徒歩2分



川崎浮世絵ギャラリー〜斎藤文夫コレクション〜

約4000点の作品の中から川崎や神奈川にゆかりがある作品や、国内外で高い評価を得た作品などを1か月ごとに展示替えを行いながらご覧いただけます。

TEL.044-280-9511 FAX.044-222-8817
<https://ukiyo-e.gallery/>



ミュージア川崎シンフォニーホール

貸館案内 音楽ホール正面入口の向かいに位置する音楽工房は、ピアノの発表会、講演会、音楽練習、絵画等の創作活動の発表等、用途に応じてご利用いただけます。

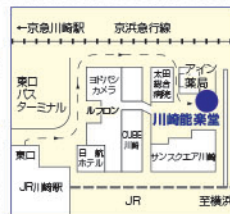
〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
 TEL.044-520-0100 FAX.044-520-0103
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/>
【アクセス】 JR川崎駅中央西口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分



川崎能楽堂

貸館案内 邦楽を中心に創意を生かしたパフォーマンスの稽古、発表、鑑賞の場としてご利用いただけます。

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
 TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995
<https://www.kbz.or.jp/facility/noh/>
【アクセス】 JR川崎駅中央東口より徒歩5分



東海道かわさき宿交流館

貸館案内 4階の集会室は、舞台も備えた多目的な空間です。ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が可能です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
 TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314
<http://www.kawasakishuku.jp/>
【アクセス】 京急川崎駅より徒歩6分、JR川崎駅中央東口もしくは北口東より徒歩10分



ラゾーナ川崎プラザソル

貸館案内 可動式ひな壇を使用したり、舞台と客席を自由に設定したりと、様々な催し物に対応。機材も充実、お客様の構想を基に、理想の空間づくりをお手伝いいたします。

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
 TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151
<http://www.plazasol.jp/>
【アクセス】 JR川崎駅中央西口より徒歩5分



川崎市アートセンター

貸館案内 アルテリオ小劇場では、演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態での利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
 TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
<https://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】 小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



新百合トウェンティワンホール

貸館案内 450名収容の多目的ホールは、講演会、発表会、展示会、展示即売会、ギャラリーなど多彩な利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21地下2階
 TEL.044-952-5000 FAX.044-952-1350
<https://shinyuri21hall.jp/>
【アクセス】 小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩2分





アルテリオ小劇場

ベビーシアタープロジェクト『KUUKI』

演出:アリツィア・ルブザック

最も小さな観客のための、特別な芸術体験

クロマチックアコーディオンの生演奏とダンスで赤ちゃんはもちろん大人もゆったり楽しめるパフォーマンス。ポーランド×日本の共同製作作品。

5月3日(水・祝)～4日(木・祝) 11:00開場・開演

☆5月3日(水・祝) 14:00よりリラックス公演(障がいや配慮が必要なお子さま向け)。事前に劇場までお問合せください。

【出演】かとうかなこ、はらだまほ、松田紀子

【チケット】大人・ベビーペア2,400円、大人2,400円、
ベビー500円(全席自由・税込) ※一般公演の対象年齢:0～18ヵ月

©Maciakrzewski

劇団コーロ『眠っているウサギ』

作:くるみざわしん 演出:高橋正徳

「はみだしたらダメ」「お金がすべて」

——そんな社会に生まれた子がホームレスを襲ったら、
誰の責任?

高校生によるホームレス殺人事件。実話を基にした本作は、現代の青少年や彼らを巡る大きな社会問題を、演劇を通して投げかける。

5月13日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

☆くるみざわしん(劇作家)×高橋正徳(演出家)×生田武志(「野宿者ネットワーク」代表)によるアフタートークあり

【出演】増田知就、本多晴奈、村井祥悟ほか

【チケット】一般2,500円、高校生以下1,000円、障がい者割引2,000円(全席指定・税込)

※推奨年齢:中学生以上 ※未就学児入場不可



©森口ミツル

【チケット取扱い】アルテリッカしんゆり

●Web <https://www.artericca-shinyuri.com/> ●Tel 044-955-3100(10:00～17:00)

●窓口 川崎市アートセンター(10:00～17:00/原則第2月曜のぞく) ほか

※障がい者割引は川崎市アートセンターのみで取扱い

年間パスポート

年5回開催する定番企画の「しんゆりジャズスクエア」と「しんゆり寄席」をお得に楽しめる
年間パスポートを期間限定で販売。詳細はHPをご覧ください。

【特典】1. 年間を通して同じお席で鑑賞

2. 一般チケットで全公演鑑賞するのと比較し、ジャズは5,000円、寄席は2,500円お得

3. 同伴者1名を年間パスポートの割引額と同額で購入可能

4. ご家族・ご友人もご利用可能

【販売期間】4月14日(金)～6月公演開演前

【料金】しんゆりジャズスクエア12,500円/しんゆり寄席8,500円

【取扱い】川崎市アートセンター ●Tel 044-959-2255(9:00～19:30/土日祝・原則第2月曜のぞく)

●窓口(9:00～19:30/原則第2月曜のぞく) ほか



©関口淳吉

お客様への
お願い

- ご来場の際は、マスクの着用を推奨いたします。
- 発熱や咳など、体調に不安のある方は入場をお断りする場合があります。
- 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、適切な感染予防策を行ないます。詳細はHPをご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止等の影響により、開催を検討する場合がございます。

※公演やチケットについては川崎市アートセンター(044-955-0107)までお問合せください。

『いつかの君にもわかること』

5/6(土)より上映

2020年|イタリア、ルーマニア、イギリス|カラー|ビスタ|1h35|DCP

監督・脚本:ウベルト・パゾリーニ

出演:ジェームズ・ノートン、ダニエル・ラモント、アイリーン・オヒギンズ

シングルファーザーとして男手一つで4歳の息子を育てる窓拭き清掃員のジョン。33歳という若さで不治の病に侵されてしまう彼は、自分亡きあとも息子に最良の未来を歩んでもらうために“新しい親”探しを始める。ヴェネツィア国際映画祭で感動の嵐を巻き起こしたヒューマンドラマ。



©2020 picomedia srl digital cube srl nowhere special limited rai cinema spa red wave films uk limited avanpost srl

『The Son/息子』

5/6(土)より上映

2022年|イギリス、フランス|カラー|シネスコ|2h3|DCP

監督・脚本・原作:フロリアン・ゼレール

出演:ヒュー・ジャックマン、ローラ・ダーン、アンソニー・ホプキンス

『レ・ミゼラブル』のヒュー・ジャックマンとアカデミー賞受賞経験のあるフロリアン・ゼレール監督のタッグで贈る、決して他人事ではない、家族のお話。再婚した妻と生まれたばかりの子供と充実した日々を送る主人公の元に、前妻との子供が現れ、「父と居たい」と懇願し…。



©THE SON FILMS LIMITED AND CHANNEL FOUR TELEVISION CORPORATION 2022 ALL RIGHTS RESERVED

『ガール・ピクチャー』

5/6(土)より上映

2022年|フィンランド|カラー|スタンダード|1h40|DCP|PG12

監督:アッリ・ハーバサロ

出演:アーム・ミロノフ、エレオノーラ・カウハネン、リンネア・レイノ

大人と子供のはざま、17歳から18歳に差し掛かる3人の少女たちが主人公。運命の恋をしてみたり、未知の快感を求め冒険してみたり。多感な時期に“こうあるべき自分”を思い浮かべて、時には失敗しながら自由を獲得するまでを描く。監督からの今を生きる女の子へのリスペクトであり、応援歌の青春映画。



©2022 Citizen Jane Productions, all rights reserved

『パリタクシー』

5/13(土)より上映

2022年|フランス|カラー|シネスコ|1h31|DCP

監督:クリスチャン・カリオン

出演:リーヌ・ルノー、ダニー・ブーン

金無し、休み無し、免停寸前と人生最大の危機が迫っているタクシー運転手の元に舞い込んだ仕事は、あるマダムをパリの反対側まで送ること。終活をしているというマダムが生きたパリの町には、彼女のとんでもない過去と秘密で溢れていた。二人の和やかなドライブはいつしか人生を動かす驚愕の旅になる。



©2022 - UNE HIRONDELLE PRODUCTIONS, PATHE FILMS, ARTÉMIS PRODUCTIONS, TF1 FILMS PRODUCTION

『最高の花婿 ファイナル』

5/16(火)より上映

2022年|フランス|カラー|ビスタ|1h38|DCP

監督:フィリップ・ドゥ・ショープロン

出演:クリスチャン・クラヴィエ、シャンタル・ロビー、メディ・サドゥアン

フランス本国で合計2300万人を動員し、世界中で大ヒットしたあの多国籍ファミリーが帰ってきた!フランス人一家の四姉妹が選んだ夫は全員移民の外国人。父と母の結婚40周年を祝うため、娘たちは無謀にも、夫たちの家族をフランスに呼んでの“親戚一同大集結サプライズパーティ”を計画した方がいいが…。



©2021 LES FILMS DU PREMIER - LES FILMS DU 24 - TF1 FILMS PRODUCTION

『ノートルダム 炎の大聖堂』

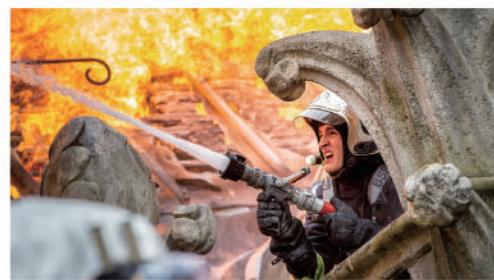
5/20(土)より上映

2021年|フランス・イタリア|カラー|ビスタ|1h50|DCP

監督:ジャン=ジャック・アノー

出演:サミュエル・ラバルト、ジャン=ポール・ボーデス、ミカエル・チリニアン

2019年4月15日、ゴシック建築の最高峰として名高い世界遺産、ノートルダム大聖堂が火の海に飲まれた。消火活動や聖遺物の救出に困難を極め、崩落の危機が迫る中で“死者ゼロ”という奇跡を起こした消防士たちの知られざる嘘のような真実を描いた白熱のエンターテインメント。



©2022 PATHÉ FILMS - TF1 FILMS PRODUCTION - WILDSIDE - REPÉRAGE - VENDÔME PRODUCTION

『ザ・ホエール』

5/20(土)より上映

2022年|アメリカ|カラー|スタンダード|1h57|DCP

監督:ダーレン・アロノフスキー

出演:ブレンダン・フレイダー、セイディー・シンク、ホン・チャウ

恋人を亡くしたショックから過食を繰り返し、歩行器無しでは歩けなくなってしまったチャーリー。頑なに入院を拒む彼は自らの死期を悟り、離婚以来会っていなかった娘との関係修復を決意。ところが、会いに来た娘もなにやら問題を抱えていて…。2022年度アカデミー賞2部門受賞。



©2022 Palouse Rights LLC. All Rights Reserved.avanpost srl.

〈追悼 ジャン=リュック・ゴダール映画祭〉

5/27(土)より日替上映

監督:ジャン=リュック・ゴダール

2022年9月13日にこの世を去ったゴダールの膨大なフィルモグラフィの中から、1960年代と1980年代を中心に、滅多に観ることが出来なかった9作品を日替で上映。

『ウィークエンド』(1967) 『はなればなれに』(1964)

『カラビニエ』(1963) 『小さな兵隊』(1960)

『パッション』(1982) 『カルメンという名の女』(1983)

『ゴダールのマリア』(1985) 『ゴダールの探偵』(1985)

『ゴダールの決別』(1993)



©Gaumont

[その他の上映予定作品]

〈アルテリッカしんゆり〉第8回日本映画大学学生企画上映会

川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県 川崎市 麻生区万福寺6-7-1

Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200 info@kawasaki-ac.jp https://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分 〈月曜休映(祝日の場合は翌日)〉



チケットは当日9:00より受付にて販売します。(自由席/整理番号順入場)

上映期間等は都合により変更する場合があります。

◆通常料金 ●一般:1800円 ●大学生・専門学校生:1400円 ●シニア・会員:1100円
●障がい者・付添(1名まで):1000円 ●高校生以下:800円

～ユースパス案内～ 3歳～18歳(高校生)まで100円でパスを発行(1年間有効)
いつでも500円で映画がみられます。

◆各種割引デーあり ●毎月1日は映画サービスデー ●水曜日はサービスデー ●夫婦50割

◆アルテリオ・シネマ会員募集中! いつでもお得なシネマ会員価格でみられます!

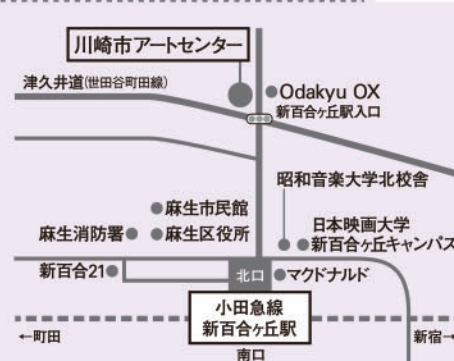
●入会金500円 ●年会費1000円(1年更新制)

●ポイント5つで招待券1枚プレゼント!

●同伴者割引:1名様まで、一般料金1800円の作品は一律1300円に割引!

ご入会手続きは受付でのみ承っております。

◆団体鑑賞受付ます!(お問い合わせください)



やむを得ない事情により、上映スケジュールの一部またはすべてが中止になる可能性がございます。お出かけの際は、当館ホームページ、または直接お電話にてご確認ください。



一関書房 ニュース

- 多摩市民館 第2・4木曜日 1時半～、5時半～
A 写経を鉛筆、ペンで書き漢字を小・中学生に教える
B 小筆で俳句・手紙文を習う 仮名も可
 - 一関書房 第2・4日曜日上記の内容を選択、時間は上記に準ずる
 半紙大までは漢字も小筆で対応する
 会費…月2,000円
 - 通信制会員はお電話下さい 条幅手本もあります
- 一関書房** 〒214-0032 川崎市多摩区枳形5-1-14
 TEL044-933-9551 090-7715-1625
 代表 吉澤 一 濤

広告掲載のお問合せ◎八幡印刷(株) TEL03-3493-4381

かわさき市民 第30回 記念 アンデパンダン展 作品募集

市内在住・在勤・在学者のアンデパンダン公募展(絵画・書道・写真)

[募集期間] **4月25日(火)～5月31日(水)**

◎詳しくは募集要項をご覧ください。
 (区役所・市民館・図書館で4月下旬配布予定)

[お問合せ先] **(公財)川崎市文化財団**

TEL. 044-272-7366

川崎市文化財団HPからも申し込みます。

[URL] <https://www.kbz.or.jp/event/ind-20230627/>



[開催期間] **6月27日(火)～7月9日(日)** ※7月3日(月)は休館日

10時～18時(入場終了17時30分) ※最終日は15時まで

[会場] **アートガーデンかわさき**

主催/川崎市民美術協議会・公益財団法人川崎市文化財団

共催/川崎市教育委員会(予定)

後援/川崎市(予定)



かわさき市民アンデパンダン展とは…

川崎市で40年以上にわたって開催されている公募制の総合美術展です。出品作品に入選・入賞などの優劣をつけない無審査方式で行われており、市民の自由な創作発表の場となっています。最終日には講評会が行われ、出品者一人一人がプロの講師による講評やアドバイスを受けられるなど、出品者や美術愛好家の交流の場となっています。※講評日:7月9日(日)13時～15時

公益財団法人 川崎市文化財団

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。



かわさきSDGs
パートナー

川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



～川崎市文化財団公式 Twitter～

川崎市文化財団 @kbunkazaidan

<https://twitter.com/kbunkazaidan>



〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階

TEL.044-272-7366 FAX.044-544-9647

<https://www.kbz.or.jp>

令和5年5月1日発行

川崎市文化財団

検索

